

科目区分	専門分野			科目番号		曜日時間	不定期
授業科目	地域・在宅看護概論 I						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1年次通年	授業形態	講義
担当教員	東 直子						
授業目的	地域の特性およびそこに暮らす人々を把握し、生活環境が健康に与える影響を考える						
中核	暮らしの理解						
授業目標	1. 暮らすということを考えることができる。 2. 支えあって生きるということを考えることができる。 3. 地域の生活環境が健康に与える影響を考えることができる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考		
	1	人々の暮らしと地域・在宅看護のつながりを知る 暮らしの基盤として地域を把握するための方法を知る	講義・GW	2			
	2	コミュニティアズパートナーモデルに基づく情報収集の項目を知る 学校所在地の情報を用いて地域を把握できる	GW	2			
	3	学校周辺の地区踏査の計画を立案する	GW	2			
	4	学校周辺の地区踏査を実施する	フィールドワーク	2			
	5	学校周辺の地区踏査を実施する	フィールドワーク	2			
	6	地区踏査の結果を整理する（地域マップを作成する）	GW	2			
	7	地区踏査でわかったことを発表し、情報共有する 暮らすということを考える	GW	2			
	8	西諸地域（小林市、えびの市、高原町）の情報を用いて地域を把握する	講義・GW	2			
	9	コミュニティアズパートナーモデルを活用して、地域のちからを考える 西諸地域の保健医療福祉施設や防災関連施設を把握する	GW	2			
	10	西諸地域の地区踏査の計画を立案する	GW	2			
	11	西諸地域の地区踏査を実施する	フィールドワーク	2			
	12	西諸地域の地区踏査を実施する	フィールドワーク	2			
	13	西諸地域の地区踏査を実施する	フィールドワーク	2			
	14	地区踏査の結果を整理する（地域マップを作成する） 支えあって生きるということを考える	GW	2			
15	地区踏査でわかったことを発表し、情報共有する 地域の生活環境が健康に与える影響を考える	GW	2				
課題等	各授業ごとにリフレクションシートを提出 指定時にワークシートと地域マップ等の資料を提出						
評価計画方法	課題評価（リフレクションシート、ワークシート、地域マップ等）50% ・授業態度（各ワークに対する取り組み）50%						
テキスト参考図書	河原加代子他著：専門分野 地域・在宅看護論 I 【電子版】，医学書院 参考）医療情報科学研究所：公衆衛生がみえる，メディックメディア						
実務歴有	看護師・保健師：病院・企業勤務 9年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	病院・企業における実務経験をもとに、地域の理解をとおして対象者の生活と健康を関連付けて考えられるように講義を展開する。						
備考	ポートフォリオ用のクリアファイル等は各自準備すること						